

京都府京都市

高所の保守点検をヒトが安全、安価、短期に行う 画期的「特殊高所技術」の人材育成

独自開発した「特殊高所技術」を用いて、近接が難しい高所に特化した構造物を調査する会社として、約10年前に創業した。高速道路会社、電力会社、建設コンサルタント会社、風力発電事業者等を主要顧客として、橋梁や水力発電所等の大規模土木構造物や風力発電設備の調査・点検・非破壊検査・補修工事や岩壁や不安定岩塊の除去、急崖の調査等、非常に幅広い業務に、同技術を適用し展開している。

●所在地	京都府京都市南区吉祥院三ノ宮町1	●設立	2007年
●電話/FAX	075-574-7077 / 075-574-7078	●資本金	1,000万円
●URL	https://www.tokusyuu-kousyo.co.jp	●従業員数	66人
●代表者	代表取締役 和田 聖司		



不可能を可能にした「特殊高所技術」

高強度のロープや特殊機材を用いて、大規模構造物等の高所の調査、点検等を行う「特殊高所技術」。一般的に近接困難箇所といわれる場所へ、重機や仮設足場等の大型機材を使わずに安全に近接できるのが特長である。これまで大型機材の投入が必要で、高額、長期かつ労働災害発生が多かった高所において、人が対象物に直に触れる距離まで近づいて、低コスト、短期かつ安全、高精度な設備点検・維持管理を可能にした。「特殊高所技術」は国内だけでなく海外でも活用されており、海外では「Ninja Tech(ニンジャテック)」の名で呼ばれている。



高速道路の斜張橋での点検作業

一番の課題は、事業のカギになるヒト（技術者）の育成

同社の事業の要は、現場で特殊高所技術を使って作業する技術者である。そのなかでも中核となる技術者の育成を優先課題として、技術OJTや安全教育研修の充実の他、訓練施設での高所作業技術訓練、救助訓練の実施、メーカーとの商品・技術情報の交換や提携の実施、社外研修制度への参加等を推進している。事業所や業務現場は分散しているが、全営業所をオンラインでつないで全業務を止めて行う毎月の安全研修や、全社員が一堂に会して行う年1回の話し合い等により、社内コミュニケーションを図っている。



月1回実施の安全管理研修の様子

順調な業務を受け、さらなる需要の開拓・獲得を目指す

事業は順調に拡大中であり、直近の5年間で40名以上を雇用した。現在は、風力発電設備のメンテナンスに関する需要の高まりに対する要員を増強中である。メンテナンス要員について、社屋内に訓練施設を整備する等、現場での技術OJTと社内OFF-JTを組合せた技術者の質にこだわった育成に取り組んでいる。全国的な営業地域の拡大に合わせて実績を積み、信頼を構築することを通じて、需要を業績に結びつけていく方向である。



新入社員の特殊高所技術訓練